# 磯津通信

磯津環境学校
編集・発行
萩森　繁樹
〒510-0863
磯津南町2839
野田之一さん気付

事故翌日朝のマテリアル正門前、中継車で一杯

# 1/9 爆発事故
## マテリアル事故を考える

# 1/9 いそかんブログ

今日は正月に急逝した教え子のおつれあいを豊田に見舞って帰り、この事故を知りました。明日の新聞にもう少し詳しい記事が出ると思いますので素人が推測で記事を書くことは慎まねばなりません。

ただ、三菱マテリアルの位置関係や製造物の簡単な情報は私でも分かりますのでお知らせします。

（ぼけた写真ですが、下の○で囲んだところが磯津。マテリアルは鈴鹿川河口の対岸、石原産業と最近満杯で閉鎖した三田処分場の間に位置します。見ていただくと分かるように後背部には昭和四日市石油のタンクがすぐ近くに林立しています。最近、できたばかりでスクラップしたエボニック・モノシラン・ジャパンはすぐ前でした。）

今回マテリアルで製造しているクロロシランは　$Si + 3HCl \rightarrow HSiCl_3 + H_2$　ケイ素の粉末に300℃で塩素を吹き付け、高純度の多結晶ケイ素（商品名シリコクロロホルム）というシリコン半導体等に使うものを製造しているところだと思います。クロロシランは沸点が31.8℃ですから、水反応可燃性物質、つまり水と接触すると大変危険なものです。

● 中学時代（高校ではなく）、理科の牧野先生に元素記号を覚えさせられ、しっかり化学式の特訓を受けました。それ故、こうやって理解するのが妙に分かり易いのです。

《　連絡・情報提供先　090-4269-0965　hagi1922@tcp-ip.or.jp　磯津環境学校情報室　》